

(数学C) 学習指導案

日 時	平成19年5月29日(火) 第1時限	指導者	小池長八郎
学級・群	3年次P①群	教室	203教室
単 元	第2章 2次曲線	教科書	新編 数学C (数研出版)
指導計画 時間配当	1 放物線・・・・・・・・・・1時間 2 楕円・・・・・・・・・・3時間 3 双曲線・・・・・・・・・・3時間 4 2次曲線の平行移動・・・3時間 5 2次曲線と直線・・・・・・・・2時間 (本時はその2時間目)	6 曲線の媒介変数表示・・・3時間 7 極座標と極方程式・・・3時間 8 コンピュータの利用・・・1時間	
本時の 指導目標	1 実験を通して放物線のもつ特徴を理解し、日常生活との関わりから数学への興味・関心をもたせる。 2 放物線上の点における接線の方程式を導く。		
事前指導 と準備	教科書 p 56 練習 14 を解いてくる。		
指導過程及び指導内容		時間 (分)	指導上の留意点及び評価の観点
導 入	前時の課題を確認し、本時の内容を説明する。	5	・授業開始前に生徒に板書させておく。
展 開	1 放物線の実験をする。 2 実験の結果から、放物線の焦点の性質を考え、式を使って証明する。 3 身の回りにある放物線を利用したものを紹介する。 4 放物線上の点における接線の方程式を導く。 5 例題を用いて、接線の方程式が求められることを確認する。	5 10 5 15 5	・レールを転がる球は放物線に当たったあと、どのように移動するか考えさせる。 <i>数学的な見方や考え方</i> 実験を通して、放物線に対する考え方を身に付けることができる。 <i>関心・意欲・態度</i> 日常生活と放物線を関連づけて考察することができる。 <i>知識・理解</i> 解法を理解することができる。 ・机間指導し、理解度の確認をする。
整 理	1 本時のまとめをする。 2 次時の予告をし、課題を与える。	5	・本時の内容を確認させる。
備 考	総合学科 生徒数4名(男子3名 女子1名)		